

利用・用途・応用分野

無料開放特許

生物・医学系の動物実験や遺体の処理のための灌流固定

目的・課題

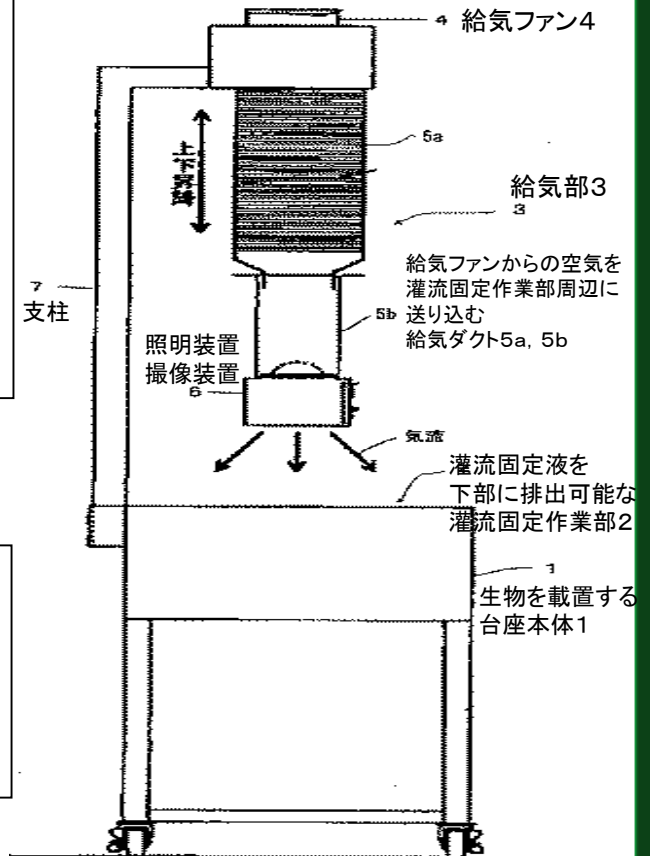
被剖検体(生物)を灌流固定する場合、大量のホルムアルデヒド等の灌流固定液を用いるので、既に灌流固定済み被剖検体を解剖するのに比べて作業環境のホルムアルデヒド等に注意する必要がある。一方で、天井に給気機構を設けると、部屋そのものの工事が必要になり、装置が大掛かりになってしまう。簡単な構成で効率よく作業環境のホルムアルデヒド等を除去できる灌流固定台を提供することを目的とする。

研究概要・アピールポイント

本発明の灌流固定台を用いれば、簡単な構成でホルムアルデヒド等の気化した灌流固定液を効果的に排気・除去することができ、安全に灌流固定作業を行うことができる。

解決ポイント

灌流固定液を用いて生物を灌流固定処置するための灌流固定台。



灌流固定処置する生物を載置する給気ダクトはフレキシブルダクトであり、少なくとも給気方向を可変にできる。

◆ お問い合わせ先 ◆

有限会社山口ティール・エル・オー TEL: 0836-22-9768 E-mail: tlojim@yamaguchi-u.ac.jp